

教界ニュース

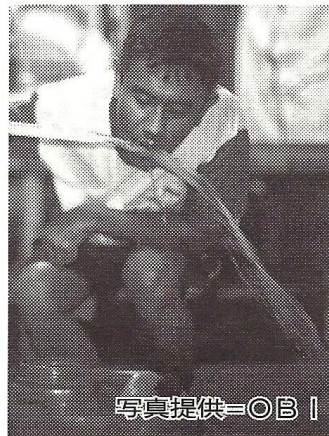
# 療・衛生状態を質的改善

## 経済・生活再建はこれから

# フィリピン台風支援長期化 自立へ援助続ける

各キリスト教救援団体のフィリピン台風支援情報を伝える。

◇ ◇  
80年代からフィリピンで活動し、フィリピン支部がある米国国際NGO「オペレーション・プレッシング・インターナショナル(OBI)」は、支援物資の提供、医療活動、漁業・建築支援と共に、フィリピンの水事情に配慮するため飲み水を確保する活動に取り組んで来た。東レ株式会社から災害対策用小型造水機2台の寄贈を受けたOBIの日本支部、NPO法人「オペレーション・プレッシング・ジャパン(OBJ)」(トナルド・トムソン代表理事)は、その2台を現地に提供。小型造水



写真提供=OBI

造水機でろ過した水を飲む。電子版に現地写真掲載

機はあらゆる水源から不純物を除去し、安全性の高い水を作り出せるというもの。フィリピンでは台風による大波で水源が塩水に浸かり、井戸から塩水が出る場所があるが、この造水機で濾過すれば塩分を除去でき、飲料水として飲むことができる。また、日本企業からの寄贈によるペットボトル入り飲料水を、OBJがフィリピンを通じて、現地の人々に提供している。

トムソン氏は「東レは初めてNGOを通じて、この造水機を寄贈しました。日本の技術が台風被害に遭ったフィリピンの人々の支援に役立っています」と語る。支援希望者は<http://objapan.org/>を参照。